

権協ニュース

No. 204 2014. 9. 8.

自治労全国一般評議会

木材産業協議会事務局

東京都千代田区六番町1

TEL 03-3263-0441. FAX 03-5210-7422.



木産協第57回定期総会開催

友愛と信義を伝統とする木産協活動を継承発展し、

木材産業の安定と働く者の生活向上・権利拡大を図ろう！

—長期的視野に立ち、人員配置や職場環境改善の取り組み強化を確認—



木産協は、9月6日、大阪市・「ホテル新大阪」において、第57回定期総会を開催した。総会には、全国から30人が参加し、2015年度の活動方針などを決定した。

総会は、奥野副議長の開会あいさつではじまり、続いて、永大産業労組執行委員の猿田代議員を総会議長に選出して進められた。

主催者を代表してあいさつに立った西本議長は「今年4月の消費税増税、その後の業況の停滞、物価高といった状況があるが、さらに、1年後の来年10月に、また消費税増税があつて、消費の冷え込みなどがあつたらどういふ状況になってしまうのだろう、などともう思ってしまふ。今総会では、そのように、1年先を見据えて、木産協構成組織間の情報の共有化も強めるよう努めながら、今後1年間の木産協の活動方針を決定していきたい」と述べた。続いて、全国一般評議会を代表してあいさつに立った道協副議長は『「アベノミクス」のもとで、今春闘では多くの労働組合が久々のベア要求をした。その結果は、大手を中心に一定の成果があつたようだが、われわれ中小にあつては思つたほどの成果は上がつていない。また、全国一般の仲間は、なおも、全国各地で何件もの争議を闘つている。皆さんにおかれては、こうした状況も踏まえられ、本総会において、今後1年間の方針を確立されることを祈念する」と述べた。

その後、2014年度の活動報告・総括、会計報告、会計監査報告が行われ、拍手で承認された。また、各構成組織から特徴的状況の報告があり、会社解散という事態を受け入れることとなつたパルテック労組の報告をはじめ、「組織拡大を重要課題と認識し、非正規雇用労働者の労働条件改善に取り組んでいる」、「消費税増税に伴う駆け込み需要による例年にならぬ好業績もあり、賃金闘争での高い数字などをかちとれてきたが、今後、増税や物価上昇の影響などをしっかり見ていかねばならないと思つている」、「ギリギリの人員で業務をこなしてきている職場について、会社からシフトについての提案があり、より適切な形をめざして対応してきた」、「基本賃金や一時金とともに、諸手当の増額もかちとることができた」、「建設業などでの人手不足もあり、非正規雇用労働者や、資格を持っている高年齢者などが退職していく傾向が強まっている」、「新たなスタイルの家具を製造することになり、20~30年ぶりに交代制を導入することになる。分からないことも多いので、皆さんにお訊きしていきたい」といふ発言があつた。



続いて、2015年度の活動方針(案)、予算(案)が提案され、これに対して、出席者からは、「少子・高齢化の一層の進展にもよって、今後、

人手不足が深刻化してくる。しかし、会社側には、労働者をモノとしてしか見ず、より安い賃金で済む非正規雇用労働者を求める傾向がある。こうした人員配置策がとられ続けていくなれば、職場の安全衛生問題の深刻化も招く。より安全で働きやすい職場をめざして、各職場で皆がしっかり人員配置要求の声を上げ続けていく必要がある」といった発言があり、執行部答弁の後、方針と予算は拍手で承認された。さらに、2015年度役員が選出され、退任する井端幹事(パルテック労組)、佐藤会計監査(天童木工労組)ら新旧役員からあいさつを受けた。

総会の最後には、総会スローガンと総会宣言(案)を確認し、西本議長の音頭による「団結ガンバロー」三唱で総会は閉会した。

2015年度役員

役職	氏名	組織名	都道府県
議長	西本 範彦	永大産業労働組合山口支部	山口
副議長	奥野 正明	林ベニヤ産業支部舞鶴分会	京都
事務局長	鈴木 一郎	大新合板支部	新潟
事務局次長	佐藤 一夫	中央本部	
幹事	浅沼 雄一	天童木工労働組合	山形
〃	高萩 喜一	永大小名浜労働組合	福島
〃	出口 啓介	新潟合板振興支部	新潟
〃	竹中 洋	永大産業労働組合敦賀支部	福井
会計監査	遠藤 賢	天童木工労働組合	山形
〃	前浜 勝利	林ベニヤ産業支部七尾分会	石川